Goldman Sachs Asset Management

9月FOMCと今後の米国株式市場の見通し

2015年9月18日

情報提供資料

9月FOMC：利上げを見送り

政策金利の現状維持を決定

- FRB(米連邦準備制度理事会)は、9月16日～17日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)で金融政策の維持を決定しました。声明文には新たに「最近の世界経済・金融市場の混乱が短期的にインフレに対するさらなる下押し圧力をかける可能性がある」との文言が記載されました。海外情勢を考慮し、注目されていた政策金利の引き上げは次回10月以降に見送られる形となりました。

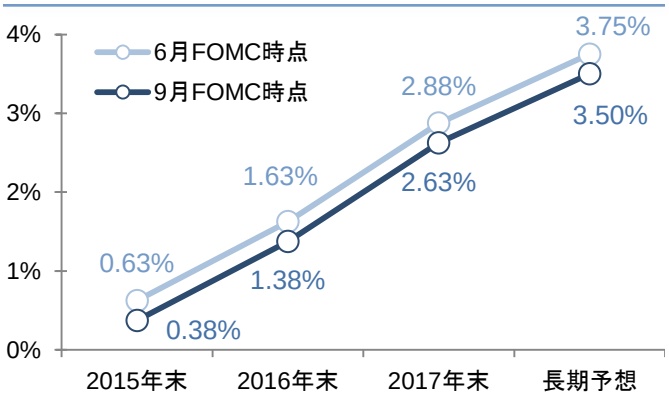
年内利上げの可能性残す

- FOMC参加者による政策金利見通しでは、2015年末の予想(中央値)は0.38%と前回6月の予想から下方修正されたものの、依然として多くの参加者が年内の利上げを想定していることが示されました。

米国株式市場はもみ合いの展開

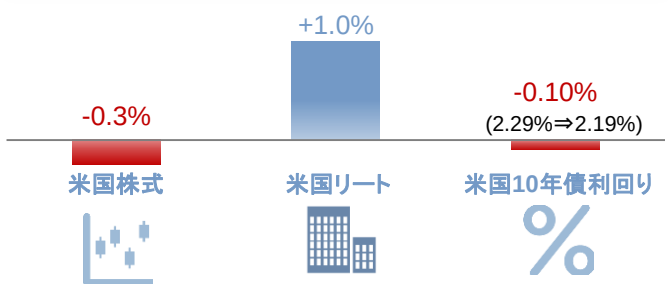
- 9月17日の米国株式市場はもみ合いとなり、S&P500指数は前日比-0.3%となりました。FOMCの決定発表後は、利上げ見送りを好感し上昇したものの、その後は利上げ時期を巡る不透明感が続くことが嫌気され下落に転じました。
- また、ハト派的なFOMCを受けて、米国10年債利回りは2.19%と前日比-0.10%の低下、為替市場では円高米ドル安の展開となりました。

政策金利見通し(FOMC参加者の予測中央値)



出所：ブルームバーグ　時点：2015年6月17日、2015年9月17日

9月17日の各資産の値動き



出所：ブルームバーグ　時点：2015年9月17日
米国株式：S&P500指数、米国リート：NAREITオール・エクイティ・リート指数

米国株式市場への影響と今後の見通し

米国株式市場にとって追い風の投資環境

- 利上げ見送りと、一層緩やかな引き締めペース見通しがあらためて示されことは、米国株式をはじめとするリスク資産にとって追い風の投資環境が期待されます。

利上げ開始から株価のピークには長期間を要する

- 依然として利上げ時期を巡る不透明感が続いています。しかしながら、利上げ開始はFRBの米国経済に対する自信の表れです。過去の利上げ開始後の米国株式市場が堅調に推移したことがその証左です。
- 実際、利上げ開始から株価がピークを迎えるまでの期間は、過去2回のサイクルで平均5年と長期にわたり、その間の米国株式は年率平均+16.7%と堅調に推移しました。

米国の景気循環、株価、政策金利の推移

出所：ブルームバーグ、全米経済研究所(NBER)　期間：1990年1月末～2015年8月末、米国株式：S&P500指数(配当込み、米ドルベース)
1990年1月末を100として指数化、景気後退期はNBERによる景気判断に基づく

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。上記は経済や市場等の過去のデータおよび一時点における予測値であり、将来の動向を示唆あるいは保証するものではありません。経済、市場等に関する予測は資料作成時点のものであり、情報提供を目的とするものです。予測値の達成を保証するものではありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。
© 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <14062-OTU-68325>